

塩江道の駅エリア整備事業

R6.3.5 release

1 山側の「^{めん}のり面対策工事」が進み、整備用地を守る、石詰め^{じゃ}の蛇かご擁壁^{ようへき}ができてきました。
(↳斜面のこと)



2 「行基の湯」の解体が進み、^{さらち}更地になっています。
跡地には、「行基橋」を渡ってきた来訪者に季節を感じさせる
緑地が整備される予定です。



解体中の様子



擁壁の整備では、塩江地区に見られる「石積みの田畑」や「川の護岸」といった、塩江らしい「郷土の風景」を大切に、コンクリート擁壁ではなく、石積みのイメージを想起させる「石詰め^{じゃ}の蛇かご擁壁^{ようへき}」を採用しました。

